



平成31年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

# 見沼のほとり

第 1 号

平成31年4月8日

学校教育目標

主体的に生きる人間の育成 <意欲・健康・豊かな心>

心はひとつに結ばれて

校長 富田 敦

今年も土呂の地に心地よい春風が吹いています。春休み、学校のフェンスに沿った桜が思い思いに咲きほこっていました。このあとは芝川の土手に菜の花の黄色いじゅうたんが敷きつめられ、登校する生徒を今か今かと楽しみに待つことでしょう。今年も土呂中学校の周りでは木々や草花が競って花を咲かせています。

開校24年目となる土呂中学校は、130名の新入生を迎え、全校生徒403名、教職員42名でスタートします。開校以来の学校教育目標「主体的に生きる人間の育成」<意欲・健康・豊かな心>を継承し、その具現化を目指し、教職員一同全力で邁進していきます。

本校では、昨年度からの3年間、さいたま市教育委員会からの指定を受け、「主体的・対話的で深い学び」を主題とし、授業改善を中心に据えた研究を進めています。今年度も教育委員会からの助言を受けながら「全ての子どもたちにとって分かりやすい授業と学習環境の整備」を実現し、生徒一人ひとりの学力向上を図るための努力を続けていきます。

いよいよ新学期です。生徒一人ひとりが新入学、進級となり、心に期するものがあります。昨年度の修了式において、1・2年生の代表生徒が以下のように述べています。

「2学期からは自分たちの代になり、部活をリードする立場になりました。だから、手本となる行動ができるよう頑張ってきたと思います。行事を通し団結や役割に責任をもつことの大切さを学びました。先輩たちが卒業し、最高学年となります。受験生にもなり、今よりも大変なことが増え、忙しくなります。その中で悩むことが多い1年となると思いますが、2年生で学んだことを生かしていけるようにしようと思います。」（新3年生 細田 恵美里さん）

「3学期では課題であるオルゴール着席や授業に対する姿勢を改善することができました。学級委員の呼びかけなどの努力が実を結びました。1年を通して体育祭や合唱コンクールなどで団結力を高めることができました。入学式ではぶかぶかだった制服もだんだんと似合う土呂中生となってきました。これから先輩となりますが、先輩として下級生に見本を見せられるよう努力していきたいと思います。」（新2年生 浅沼 大智くん）

3学期修了式において、すでに進級後の決意を表明しています。新2・3年生に大いに期待します。

保護者の皆さま、地域の方々におかれましては、様々な機会に学校へと足を運んでいただき、生徒の学ぶ姿やはつらつと活動する様子をご覧いただき、忌憚のないご意見を賜りますとともに、土呂中学校への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

※「心はひとつに結ばれて」は校歌の一節です。



土呂中学校の桜



新入生の皆さん、ようこそ土呂中学校へ！